



碧南ロータリークラブ週報

第3003回例会 令和4年1月26日(水)

- 会長 新美 雅浩
- 幹事 栗津 康之
- 会場監督(SAA) 岡本 耕也

2021-2022 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
FAX<0566>48-1100



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

- 会報委員 石川鋼勇・鈴木 洋・藤関孝典・小林 尚

●本日のお弁当

大正館

会 長 挨拶

皆さん、こんにちは。本日は少し気候が穏やかになりまして、最高気温が12度ということでございます。先週は二十四節季で言う「大寒」という季節を迎えまして、現在は七十二候の「水沢腹堅（さわみずこおりつめる）」ということで、1年で最も寒い時季になっております。会員の皆様におかれましては、くれぐれもご自愛いただきますよう、お願い致します。



新美雅浩会長

本日は職業奉仕月間の最終週という形になりますので、この機会に職業人としてロータリアンの心構えを的確にまとめてあります四つのテストの中身について、改めてご紹介をさせていただきたいと存じます。なぜ、改めて四つのテストを取り上げるのかと思われる大先輩の方々がお見えになるかと存じますけれども、日本のロータリアンは和訳した四つのテストを何度も唱えておりまして、和訳ですと、意味合いについて誤解を招くような可能性があるということを私は感じておりますので、その点についてお話をできればと考えております。

もし、事業計画書を持って見える方がいらっしゃいましたらご覧いただきたいんですけども、3ページ目に四つのテストの英訳が書かれております。1つ目が「Is it the TRUTH?」ということで、これは文字通り嘘偽りがないか、事実と反していないか、という意味合いでございます。我々の商取引で言いますと、「商品の品質や納期に対して、契約条件に偽りがないかどうか」ということだと感じております。「TRUTH」を「真実」と和訳されておりますけれども、人それぞれ「真実」という言葉の捉え方が異なる可能性もございまして、ここは本来、「事実」と解釈した方がわかりやすいのかなあと感じます。

2つ目が「Is it FAIR to all concerned?」ということで、これも「FAIR」を「公平」と和訳されておりますけれども、「公正」という意味合いを表していると考えます。それから、「all

concerned」を「みんなに」と和訳されておりますけれども、本来は「取引先」ということで、「全ての取引先に対して、公正であるかどうか」というように解釈すれば良いかと考えます。

問題なのが3つ目ですね。「Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?」を「好意と友情を深めるか」と和訳されておりますけれども、この文の解釈が非常にわかりにくいということです。和訳ですと、いかにもロータリーの親睦を意味していると思われがちなんですけれども、実は全く意味が違っておまして、これも商売に関することになります。

「GOODWILL」は元々、「商取引の信用や営業権」を表しておまして、つまり、「自分の商取引が店の信用を高めて、より良い人間関係を築きながら、取引先を増やしていくかどうか」という意味合いになります。

4つ目の「Will it be BENEFICIAL to all concerned?」ですが、商取引においては売り手だけが儲かってはいけない、買い手だけが儲かっていてもいけない、ということで、「全ての皆さんが適正な対価を得ているかどうか」という意味合いになるかと思えます。

改めて四つのテストをご紹介させていただきましたけれども、時折、四つのテストを唱えながら事業活動のチェックをしていただけたら幸いです。以上で会長挨拶とさせていただきます。

本日もどうぞよろしくお願い致します。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ガバナー事務所経由 RIJYEM より「(LINE 詐欺注意) 被害発生周知」が届いております。皆様のお子様や奥様に注意喚起をしていただけるとありがたいなと思っておりますので、よろしくお願い致します。
- 2月2日(水)の例会終了後に第8回の理事会を開催致しますので、ご関係各位はご出席をよろしくお願い致します。



栗津康之幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 63 名 (内出席免除者 13 名の内出席者 12 名) 出席者 52 名	
出席対象者 52/62 名	出席率 83.87%
欠席者 11 名 (病欠者 1 名)	

<ニコボックス>

新美 雅浩君 本日、会社創立60周年目を無事に迎えることが出来ました。お客様と従業員に改めて感謝をしています。

「IM について」

IM 実行委員会 幹事 長田豊治君



長田豊治君

失礼を致します。IM についてご説明をさせていただきます。今年碧南 RC が IM 担当でございます。次回の担当が 9 年先ということになりますので、特に若い方に見ていただきたいと思っております。

こちらは碧南 RC が地区会合の主催や主管した記録でございます。

- ・1967 年 RI 360 地区（中部 7 県から愛知・長野の 2 県に）
- ・1969 年 5 月 11 日 IGF 主催（碧南高校） 実行委員長 山中寛三さん
- ・1970 年 三河分区に分区される
- ・1973～1974 年 分区代理 植松唯四郎さん
- ・1977 年 RI 260 地区（愛知・長野の 2 県）
- ・1980 年 3 月 9 日 IGF 主催（碧南市文化会館） 実行委員長 山中寛三さん
- ・1983～1984 年 分区代理 山中寛三さん
- ・1987 年 RI 276 地区（愛知のみとなる）
- ・1991 年 RI 2760 地区に地区名変更
- ・1993 年 西三河分区に分区変更
- ・1995～1996 年 分区代理 石川八郎右衛門さん
- ・1996 年 3 月 25 日 IM 主催（衣浦グランドホテル） 実行委員長 栗津良一さん
- ・2001 年 11 月 17～19 日 地区大会主管（衣浦グランドホテル・碧南臨海体育館） 実行委員長 山中寛三さん
- ・2003～2004 年 ガバナー補佐 榊原義嗣さん
- ・2012～2013 年 ガバナー補佐 加藤良邦さん
- ・2013 年 2 月 16 日 IM 主催（衣浦グランドホテル） 実行委員長 森田英治さん
- ・2021～2022 年 ガバナー補佐 伊藤正幸さん
- ・2022 年 2 月 19 日 IM 主管（碧南商工会議所） 実行委員長 平岩統一郎さん

というふうな経過でございます。9 年前ぐらいまでの資料はまだあるんですが、それ以前のは段々と無くなってまいります。読めないとかそういうことじゃなくて、実際に体験した人が少なくなってくると資料も消えるということでございます。

そこで、IGF (Intercity General Forum) についてですが、これは都市連合一般討論会のこと、ガバナーが主催をしておりました。これが 1969 年の RI 理事会決議で RI の正式行事から除外されて、それ以後、実施するかどうかはガバナーの裁量に委ねられることになりました。その後、IM (Intercity Meeting)、都市連合会になりまして、現在に至っております。



ます。

今年度は伊藤ガバナー補佐が IM をやると決めましたので、実行委員会を組織した訳でございます。最初は衣浦グランドホテルで開催する予定でしたが、休館になりましたので、ホテルグランドティアラ安城に変更になりました。しかし、オミクロン株によるコロナウイルスの感染が拡大してしまいましたので、碧南商工会議所からのライブ配信になりました。

講師は東京大学史料編纂所 教授の本郷和人さんでございます。1960 年、東京の下町生まれの文学博士で、専門は中世政治史、中世古文書学、中世寺院史でございます。大河ドラマ「平清盛」の時代考証を務めておられます。「天皇はなぜ生き残ったか」、「なぜ武士は生れたのか」、「武力による政治の誕生」、「人物を読む日本中世史」などの沢山の本を出されておられます。

当日は二部編成になりまして、一部が式典、二部が講演会ということで、懇親会はありません。総登録者数が 524 名でございます。各クラブからは会長・幹事のみご出席していただきまして、一般会員の方々は YouTube ライブ配信にてご参加をしていただきます。当日の流れについてですが、

13：00 担当者のみ集合準備

14：20 IM 式典開会 挨拶、祝辞など 14：50 閉会

15：00 講演会開会 本郷和人さん

16：30 次年度西三河分区役員紹介 16：45 閉会

という予定でございます。

以上でご説明を終わらせていただきます。次に担当する時は盛大に大宴会がしたいものだと願っております。

ありがとうございました。

次回例会案内

令和4年2月9日（水）定款第7条第1節（d）（1）による休会

令和4年2月16日（水）クラブフォーラム「IM予行演習」